

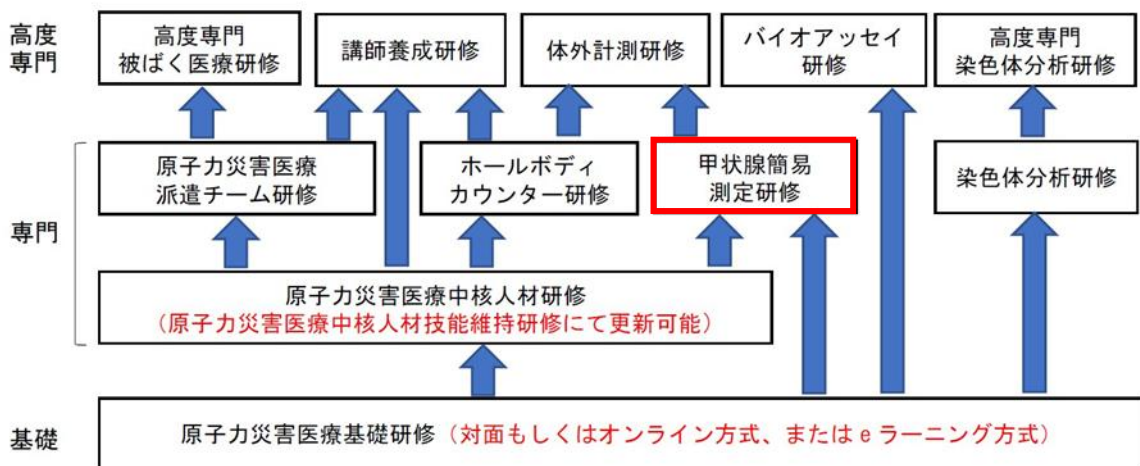
令和8年度 甲状腺簡易測定研修 募集要項 （広島大学 第2回：鳥取県・鳥取県診療放射線技師会）

本研修は、令和8年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害医療実効性確保事業）（以下、補助事業という。）の一環として、国立大学法人広島大学が鳥取県・鳥取県診療放射線技師会関係者を対象に開催する「甲状腺簡易測定研修」のご案内です。

原子力災害医療に関する各種研修は、令和3年度より「基礎→専門→高度専門」のステップアップ方式に体系化されました。

研修体系の変更に伴い、「甲状腺簡易測定研修」は、基幹高度被ばく医療支援センターの指定を受けている量子科学技術研究開発機構、高度被ばく医療支援センターの指定を受けている弘前大学、福島県立医科大学、福井大学、長崎大学、広島大学の6機関で開催しています。

本研修は、「原子力災害医療中核人材研修」及び「原子力災害医療派遣チーム研修」と同様に「専門研修」に区分され、受講される方は、下図の通り、各自治体・原子力災害拠点病院が開催する「基礎研修」を事前に修了していることが求められます。



令和6年度からの原子力災害医療研修体系

1. 目的

Nal (TI) サーベイメータを用いた甲状腺簡易測定方法の習得

2. 対象者

以下の（１）、（２）の両方を満たす方

（１）鳥取県の原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関等で、原子力災害時に周辺住民等の甲状腺内部被ばくの簡易測定を担当される方、またはその可能性がある方

* 補足 1：地方公共団体の職員であって、甲状腺の被ばく線量モニタリングを担当する者を含む

* 補足 2：原子力災害医療協力機関においては、【B 要件（国または立地道府県等からの指示に基づき、避難住民等に対し甲状腺被ばく線量モニタリングを実施することができる測定要員を保有し、その派遣体制を有すること）】の機能を登録している機関、または、今後登録を行う予定の機関。

※ 鳥取県診療放射線技師会は、B要件の機能を登録している機関であり、当該技師会に所属の方で（2）の要件を満たしていれば参加可能です。

（2）原子力災害医療基礎研修、原子力災害医療中核人材研修、原子力災害医療中核人材技能維持研修、甲状腺簡易測定研修のいずれかを修了し、有効期限内の修了証を有する方。

※ 特に、これから基礎研修を受講予定の方は、基礎研修修了後に本研修のeラーニングを受講していただきますので、早めの受講をお願いします。

3. 研修日時

（1）対面研修

令和8年8月22日（土） 13:00～16:00

（2）事前eラーニング（受講期間）

令和8年7月16日（木）～8月16日（日）

<ご注意ください>

この期間内に事前eラーニングを受講修了できなかった場合は、対面研修を受講することはできません。

4. 募集人員

25名程度

5. 実施場所

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町212-5（倉吉パークスクエア内）
エースパック未来中心 セミナールーム1, 2

6. 研修内容

対面研修は、別紙プログラム（案）のとおりです。

以下の講義は、事前eラーニングで開催しますので、3.（2）の期間内に受講してください。受講方法等の詳細は、受講決定通知とあわせてお知らせします。

- 講義1「原子力災害対応」（50分程度＋到達度確認テスト3問）
- 講義2「甲状腺簡易検査」（50分程度＋到達度確認テスト3問）

7. 受講料

無料（主催者側で負担、所属機関・参加者の負担はありません）

※本研修は原子力災害時の医療体制整備に資するため、補助事業の一環として実施します。

8. 交通費

本学の旅費規定に従い、交通費を支給いたします。詳細については、受講決定後にお知らせします。

9. 申込要領

申込期間：令和8年6月12日（金）～7月12日（日）

申込方法：

申込期間内に、被ばく医療研修ポータルサイトからお申込みください。

<被ばく医療研修ポータルサイト>

<https://retms.nirs.gst.go.jp/>



なお、お申込みの際に、「原子力災害医療に関する研修受講歴」がありましたら、受講資格の参考とさせていただきますので、ご入力をお願いします。

10. 受講決定通知

- (1) 令和8年7月14日(火)までに本人宛に結果を通知します。応募者多数の場合には、受講人数を調整させていただくことがあります(受講決定は、先着順ではありません)。なお、この日を過ぎても通知が届いていない場合には、問い合わせ先までご連絡下さい。
- (2) 受講決定者には経費支払いに関する情報・書類及び研修日程等受講に必要な諸事項をお知らせします。
- (3) 受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は、受講決定を取り消す場合があります。
- (4) 受講決定後の参加申込みの取り消しは、原則として認めませんが、やむを得ない事情による場合には「辞退届(任意様式)」の提出が必須となります。

11. 問い合わせ先

〒734-8551 広島県広島市南区霞一丁目2番3号
広島大学 放射線災害医療総合支援センター 宮本
TEL：082-257-5411
FAX：082-257-5403
E-mail：iryo-hibaku-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際してご記入いただきました氏名、住所、口座番号等の個人情報は、本学の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制等の整備に向け、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

また、本研修の受講を申し込んだことにより、原子力災害医療研修eラーニングシステムの[サイトポリシー](#)を了承し、同システムに個人情報を登録することに同意したとみなします。

令和8年度 甲状腺簡易測定研修 プログラム
(広島大学 第2回：鳥取県・鳥取県診療放射線技師会)

研修日：令和8年8月22日(土)

会場：エースパック未来中心 セミナールーム1, 2

実施：広島大学放射線災害医療総合支援センター

開始	終了	時間	形式	講義内容
13:00	13:05	5	—	開講式・ガイダンス
13:05	13:30	25	講義	e-ラーニングで実施した講義の補足
13:30	14:10	40	講義	話題提供「福島原発事故時の経験から」
14:10	14:20	10		休憩
14:20	14:30	10	実習	実習ガイダンス
14:30	15:50	80	実習	甲状腺簡易検査
15:50	15:55	5	—	質疑応答
15:55	16:00	5	—	閉講式

※講義1「原子力災害対応」と講義2「甲状腺簡易検査」は、事前にe-ラーニングシステムにより受講すること